

(十二月のことば)

宗家

十二月

岳精会は 忘年の友と 忘年会

令和の世を迎え、目出度くて日本の文化を意識して、何かと移り変わりを感じる一年だった。

岳精会も多くの行事をこなし何かと忙しい一年であった。

「忙しいに文字通り」「忙しいを」なくしてはいけなすが忙しい事は良い事である。そしてある程度の充実感を以て酒を飲めるのが良い。飲めない人も集まるとは良い。

さて、「忘年の友」とは年の差を意識しないで尊敬して交わる友の事である。正に岳精会の素人わりである。

この事からも岳精会の貴重な意味を知りましょう。

老若男女一堂に会して、吟じ、飲み、酔い、おしゃべりも良いが、忘年の友に思いを致し、少なくとも始めの一杯は全国の忘年の友に杯を捧げてみよう。

(令和元年十二月)